

Elisabeth EYE

OCTOBER
2022

Vol. 73



エリザベト音楽大学

教養・実力・慈愛のある音楽家の育成

Educating Musicians of Culture, Competence and Compassion



「まちかどピアノ」特別演奏 (8月24日 紙屋町シャレオ)



み心のミサ (6月24日 世界平和記念聖堂)



次世代指揮者アカデミー&コンクール 学生ボランティアスタッフ
(8月8日~17日 JMSアステールプラザ・広島国際会議場)



オープンキャンパス 学生によるウェルカムコンサート
(8月21日 セシリアホール)



こどものためのミニオペラ「人魚姫と海のなかまたち」
(9月3日 東広島芸術文化ホールくらら)



エスポワール新人演奏会 (4月9日 セシリアホール)



ひろしま国際平和文化祭 ステージイベント (8月27日 広島市中工場緑地帯)

活躍する学生たち



カンボジアの3人の修了生

エリザベト音楽大学
理事長・学長

川野 祐二

この夏2年半ぶりに海外に出張しました。一つ目は世界に179あるイエズス会大学の学長会議のためにボストン大学を訪問。イエズス会の目標と軌を一にする大学のあり方、環境への配慮、国際交流と異文化交流の必要性など、本学の次期中期計画策定の手がかりが得られました。二つ目はカンボジアのプノンペンでのASEACCU（東南・東アジアカトリック大学連盟）総会参加でした。

総会終了後、プノンペンで3人の修士課程修了生に会いました。ソムナンさん（1970年生、クラリネット）は演奏と教育活動、ビタロさん（1971年生、フルート）は母校王立芸術大学の学部長、スロノさん（1981年生、ピアノ）は市中の一等地にある音楽教室の室長として、大学院での経験を立派に生かしていました。

王立芸術大学学長を表敬訪問するために学内を歩いていると、ソムナンさんは、10歳の時にビタロさんと一緒に大学内の小学校に入学したことを話してくれました。「10歳で小一」は、数日前にASEACCUの講演で聞いたカンボジア史とすぐには結びつきませんでした。第二次世界大戦後もインドシナ半島は戦争が続き、ベトナム戦争終結（1975）とカンボジアのポル・ポト政権下（1975～79）の100万人以上の虐殺は日本でも大きく報道され、鮮明に覚えています。私は講演をひとつのよう聞いていたと反省します。（以下、本人の了解を得て書いています。）

ソムナンさんの小学校入学が遅れたのは、ポル・ポト時代は子どもでさえ農作業が強制され、学校に通うことができなかったからでした。小学校入学後は一貫して芸術中学、芸術高校へと進学し、1989年に卒業します。カンボジアには良い指導者がいない音楽分野もあり、専門性を求めて90年からソビエト（91年12月崩壊）時代のウクライナの音楽院に入学しました。当初2年間はロシア語の学習に専念し、5年間で音楽の学位を取得しました。実は彼の父も音楽家でしたが故国の戦乱でフランスから帰国できず、ウクライナで再会したそうです。

96年にプノンペンに戻り音楽教師を務めながら研鑽を積み、98年に英国留学を果たしましたが、奨学金が1年分しかなく、再びプノンペンに戻ります。修士号取得を願い2002年9月、本学初のカンボジア人国費留学生として来日。当時の留学生は、半年間学内で日本語を学習した後に入学が許可されたので、彼の入学は2003年4月、33歳の時でした。2年後、彼の修了と入れ替わりにビタロさんとスロノさんが入学しました。きっとソムナンさんがエリザベトの良さを伝えたのでしょう。

ソムナンさんには大学院修了後も語り尽くせないドラマがありますが、ここまでにします。彼らの学生時代に私は学事部長でした。留学生が多様（複雑）な体験を経て入学していたことを全く知りませんでしたが、彼らの溢れる向学心の理由の一端が今回わかりました。

私のプノンペン訪問を3人は心から喜んでくれました。それは彼らの在学時の教職員が、一人ひとりを丁寧に大切に導いた証しに他なりません。王立芸術大学とは交流協定(MOU)を締結することが決まりました。本学とカンボジアに関わる全ての関係者に心よりお礼を申し上げます。

本年のASEACCUのテーマは「MEMORY AND IDENTITY」でした。カンボジアと彼らの歴史を知り、あらためて平和な日本と音楽のできる喜びの大切さを痛感する出張になりました。



イエズス会ソーサ総長とともに



故マクガレル神父の弟マシューさん



スロノ音楽教室にて
左から スロノ、川野学長、ビタロ、ソムナン



王立芸術大学学長室にて
左から ソムナン、川野学長、スロノ、
HENG SOPHIADY学長、ビタロ



エリザベト音楽大学
演奏学科長補佐
甲斐 摩耶

学科長補佐メッセージ

エリザベト音楽大学に着任し、広島に住まいを移して10年余りが経ちました。私生活でも変化の多かった10年余りを、大学関係者はじめ、広島の方々にはいつも温かく見守っていただき感謝の気持ちでいっぱいです。出産後に「子供さんが生まれちゃったんですってね」と声をかけていただきびっくりしたのは今となっては笑い話です。

大学の採用試験の時に、大学の良いところを尋ねられ、いわゆる面接が初めてだった私は戸惑ったのを覚えています。今ならば様々な良い面を挙げられますが、その一つはよく言われるエリザベトファミリー、そして教職員の方々の音楽と学生に対する真摯な姿勢がすみずみまで行き届いている点だと思います。創立者ゴーセンス神父様が尊敬したダンディは「芸術の道に彼らを導くために、学生の進歩を調べ、彼らの苦しみのすべてを聞き、学生ひとりひとりの個性を知ろうとしていた」そうです。まさにこの精神を今後も一丸となって引き継ぐと共に、地域に開かれた大学として貢献出来るよう努めたいと思います。

Message

2021(令和3)年度決算の概要

〔表1〕事業活動収支計算書

収支のバランス良好

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差異(予算-決算)
学生生徒等納付金	447,000,000	452,153,500	△ 5,153,500
経常費等補助金	97,500,000	103,694,457	△ 6,194,457
その他	96,607,000	88,011,590	8,595,410
教育活動収入計	641,107,000	643,859,547	△ 2,752,547
人件費	511,455,000	506,870,449	4,584,551
教育研究経費	392,574,000	341,993,182	50,580,818
管理経費	107,639,000	86,491,277	21,147,723
教育活動支出計	1,011,668,000	935,354,908	76,313,092
A 教育活動収支差額	△ 370,561,000	△ 291,495,361	△ 79,065,639
教育活動外収入計	500,000,000	512,777,094	△ 12,777,094
教育活動外支出計	500,000	372,079	127,921
B 教育活動外収支差額	499,500,000	512,405,015	△ 12,905,015
C=A+B 経常収支差額	128,939,000	220,909,654	△ 91,970,654
D 特別収支差額	154,500,000	155,105,844	△ 605,844
E 予備費	46,000,000	46,000,000	
C+D+E 基本金組入前当年度収支差額	237,439,000	376,015,498	△ 138,576,498
基本金組入額合計	△ 490,000,000	△ 483,700,593	△ 6,299,407
当年度収支差額	△ 252,561,000	△ 107,685,095	△ 144,875,905
前年度繰越収支差額	1,433,119,472	1,433,119,472	0
翌年度繰越収支差額	1,180,558,472	1,325,434,377	△ 144,875,905

(参考)	事業活動収入計	1,342,107,000	1,357,964,155	△ 15,857,155
	事業活動支出計	1,104,668,000	981,948,657	122,719,343

〔表2〕貸借対照表(B/S)

左右でバランスしている

(単位:円)

科 目	2022.3.31	科 目	2022.3.31
① 固定資産	14,785,473,447	固定負債	361,314,792
有形固定資産	3,316,803,535	長期借入金	107,510,200
土 地	441,820,561	長期未払金	190,944
建 物	2,370,301,967	退職給与引当金	253,613,648
その他有形固定資産	504,681,007	流動負債	128,648,920
特定資産(基本金など引当資産)	10,984,142,584	短期借入金	54,996,400
その他の固定資産	484,527,328	前受金ほか	73,652,520
有価証券	482,272,570	負債の部合計	489,963,712
その他固定資産	2,254,758	④ 基本金	13,872,815,483
② 流動資産	902,740,125	第3号基本金ほか	13,872,815,483
現金預金	108,373,248	繰越収支差額	1,325,434,377
①+② 資産の部合計	15,688,213,572	⑤+⑥ 純資産の部合計	15,198,249,860
		負債及び純資産の部合計	15,688,213,572

〔表1〕事業活動収支計算書・・・教育活動収支差額(符号A)は、支出が収入を上回り△2億91百万円となりました。予算を79百万円上回りました。収入が6億43百万円と予算を2百万円上回り、支出が9億35百万円と予算を76百万円下回ったことが要因です。
教育活動外収支差額(符号B)は、5億12百万円と予算を12百万円上回りました。これらにより経常収支差額(符号C)は、2億20百万円と予算を91百万円上回り、さらに特別収支差額(符号D)1億55百万円を合算した基本金組入前当年度収支差額(C+D+E)は、予算を1億38百万円上回って3億76百万円となりました。基本金へ4億83百万円組入れ、当年度収支差額は△107百万円となり、前年度繰越収支差額14億33百万円に加算して、翌年度繰越収支差額は13億25百万円となりました。基本金組入前当年度収支差額(3億76百万円)が示すように、2021年度決算も前年度決算に引続き収支のバランスは良好となっています。

〔表2〕貸借対照表・・・学校法人の総資産は156億88百万円となり、2020年度末比、3億90百万円増加しています。⑤基本金138億72百万円と⑥繰越収支差額13億25百万円が本学の純資産151億98百万円となります。第3号基本金等への積立により、純資産が増加しています。2020年度に引続き財務基盤の強化が出来ました。

エリザベト
音楽大学
後援会

会員募集

エリザベト音楽大学後援会は、在学生の音楽研究活動を支援することを目的として、在学生の保護者(保証人)、卒業生、教職員そして後援会の趣旨に賛同くださる方々により組織された団体です。2021年度は、学生のコンクール及びセミナー参加、演奏会24件に対して724,478円の支援を行いました。新型コロナによって活動が制限されていた2020年度からは支援件数、支援金額ともに増えました。今後も学生の活動への支援を続けてまいります。

後援会ご入会について、この機会にご検討くださるようお願い申し上げます。ご入会いただいた場合、本学の主催演奏会にご招待いたします。今後も学生の音楽研究活動を支援するため、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

郵便振替口座 01360-0-67324 加入者名 エリザベト音楽大学後援会

●お問い合わせ エリザベト音楽大学後援会事務局(大学内) Tel082-221-0918(代)

2022年度 今後の演奏会スケジュール

エリザベト音楽大学コンサートシリーズ

ヤン・イラー・チェク・
フォン・アルニン客員教授
ピアノリサイタル

10/14金 開演 18:45

エリザベト音楽大学
セシリアホール

料金 前売り:2,000円(当日:2,500円)

曲目 L.v.ベートーヴェン:ピアノソナタ第14番
嬰ハ短調 Op.27-2「月光」
F.ショパン:バラード第3番Op.47、
練習曲Op.10-4

ほか

ヤン・イラー・チェク・
フォン・アルニン

第81回定期演奏会

10/28金 開演 18:30

JMSアステールプラザ大ホール

料金 1,000円

曲目 M.グリンカ:歌劇《ルスランとリュドミラ》序曲
S.ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番
ハ短調 Op.18

J.ブラームス:交響曲 第1番 ハ短調 Op.68

出演 指揮:飯森 範親
ピアノ:緒方 廉太郎(演奏学科3年)
演奏:エリザベト音楽大学交響楽団



飯森 範親



緒方 廉太郎

チャリティー
クリスマスコンサート

12/10土 開演 15:00

エリザベト音楽大学

セシリアホール 料金 1,000円

曲目 桃場富美子:Alma Redemptoris Mater
(本学委嘱作品・世界初演)
Z.コダーイ: Missa Brevis
G.フォーレ: Ave verum
Z.ランゲル・ストゥループ: There is no rose

ほか

出演 指揮:大谷 研二・寺沢 希
演奏:エリザベト音楽大学合唱団



大谷 研二



寺沢 希

※コロナ対策としてホール内にご入場いただける人数には制限がございます。上限に達した場合は入場券の販売を中止させていただきますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ: 学事部演奏活動 Tel 082-225-8004 ●入場券の販売はぴあのみとなります。詳しくはホームページをご参照ください。

冬期受験講習会

開催期間 12月24日(土)・
25日(日)受付期間 11月17日(木)~
11月30日(水)

講習科目 ■楽典、ソルフェージュ(聴音/視唱)
■実技レッスン
■〈音楽家の耳〉トレーニング講座
■模擬テスト

※模擬テストの結果、一定基準以上の成績を収めた高校3年生以上の方は、本学の入学試験での楽典・ソルフェージュが免除されます。また、「楽典・ソルフェージュ」成績優秀者奨学金の対象となる場合もあります。詳細は「受験講習会」パンフレット及び大学ホームページでご確認ください。

●お問い合わせ 学事部学務 Tel 082-225-8015

ピアノレッスンin福岡

開催日 2023年2月11日(土祝)

会場 (株)ファイネストピアノ福岡

対象 将来音大進学を考えている
小学生から大学受験生

募集人数 7名

受講料 6,000円(税込)/45分個人レッスン

申込締切 2023年1月27日(金)

※定員に達し次第、募集を終了します。

●お問い合わせ 学事部企画・広報 Tel 082-225-8009

講師
垣内 敦 教授

日頃の成果を発揮しよう

〈音楽家の耳〉トレーニング検定試験

〈音楽家の耳〉トレーニングは、ソルフェージュと音楽理論を統合し、実践的なトレーニングを行いながら総合的な音楽能力を養うことを目的としています。検定試験は、日ごろのトレーニングで養った能力を客観的に確かめ、その後の学習の指針として役立てるためのものです。

※グレード5以上を取得している場合は、入学試験での楽典・ソルフェージュ(新曲視唱、旋律聴音)の受験を免除します。また、〈音楽家の耳〉トレーニング検定試験合格者奨学金の対象となります。

実施日	受付期間(必着)
12月11日(日)	11月2日(水)~11月10日(木)
2023年3月4日(土)	2023年 1月26日(木)~2月2日(木)

エリザベト演奏グレード検定試験

演奏実技を学習する人たちに、学習段階の自覚と、上の段階を目標に一步一步学習を進めることを目的とした検定試験です。

※検定試験の結果により、入学試験において受験が免除される科目があります。

科目	実施日	受付期間
声乐、鍵盤楽器、副科ピアノ	12月11日(日)	11月2日(水)~11月10日(木)
管弦打楽器	12月24日(土)	11月17日(木)~11月24日(木)
声乐、鍵盤楽器、管弦打楽器、副科ピアノ	2023年3月4日(土)	2023年1月26日(木)~2月2日(木)

●お問い合わせ 学事部検定試験係 Tel 082-225-8015

2023年3月開催 入場無料

スプリングフェスティバル

開催日 2023年3月11日(土)・12日(日)

さまざまな音楽会や講演会をお楽しみいただける2日間です。

この機会にぜひエリザベト音楽大学へお越しください。

※詳細はホームページに掲載いたします。

